

高分子材料の高次構造の基礎と

1名分料金で
2人目無料

結晶化度測定・分子構造解析

- ◆日時：2017年9月7日(木) 10:30~16:30
 - ◆会場：ドーンセンター 4F 大会議室3【大阪・中央区】
 - ◆受講料：1名につき49,980円(税込、昼食・資料付)
- ※会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。
- ・1名でお申込みされた場合、1名につき47,250円
 - ・2名同時にお申し込みされた場合、2人目は無料(2名で49,980円)
- ※大学生、教員のご参加は、1名につき受講料10,800円です。
(ただし、企業在籍者は除きます。また、2人目無料も適用外です。)

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

[講師] 龍谷大学 工学部 物質化学科 教授 博士(理学) 中沖 隆彦 氏

[講座のポイント]

高分子材料は工業用途、日常用途として幅広く用いられている。しかし新規材料を開発するときあるいは材料の物性改善を行う時には、開発方針を立てる必要があります。そのためには詳細な分子構造解析を行う必要があり、分析手法ばかりでなく高分子構造の知識を修得することが必要不可欠です。

本講座では高分子の分子構造についての基礎知識と最新の分析手法による評価法について詳細に述べます。その結果、材料開発、物性改善に役立つヒントが得られることを期待しています。

- [習得できる知識]
- ・高分子の結晶と高次形態についての基礎知識
 - ・立体規則性や結晶化度などの基礎知識
 - ・固体高分解能NMR、熱分析などの分析装置の詳細な基礎知識と応用例

[プログラム]

- 高分子の結晶と高次構造
 - 分子量分布
 - 房状ミセル、ラメラ、球晶
 - 相構造(結晶、非晶、中間相)
- キャラクタリゼーション
 - GPCによる分子量測定の原理と注意点
 - 粘度法、光散乱法による分子量決定
 - ポリオレフィンの立体規則性の定量
- 結晶化度
 - 熱分析(結晶化度、ガラス転位点、融点とラメラ長の関係)
 - X線、密度法による結晶化度測定
- 固体高分解能NMR
 - NMRの基礎
 - 液体測定と固体測定の違い
- 高周波コイルと90度パルス
- マジックアングルスピニング法(MAS法)による高分解能化
- 交差分極(CP)による強度増幅
- 縦緩和時間(T1)と横緩和時間(T2)
- 結晶、非晶、中間相の評価
- X線による分析
 - CuK α 線 2)シンクロトロン
 - 円筒カメラ
 - X線小角散乱(SAXS)と長周期
 - 中性子小角散乱(SANS)との違い
- 赤外分光法による構造解析と定量法
 - マイケルソンの回折計
 - ランベルト・ベールの法則
 - 対称性と因子群解析
 - 吸光係数と定量(架橋度の解析例など)

【質疑応答・名刺交換】

『高分子高次構造【大阪開催】』セミナー申込書 FAX:03-5857-4812

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	
お名前	所属	E-Mail	
①			
②			
会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。		<input type="checkbox"/> Eメール	<input type="checkbox"/> 郵送

●セミナーの受講申込みについて●

必要事項をご明記の上、FAXでお送りください。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたしまして受講券、請求書、会場の地図をお送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

受講料の支払いに関してはHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>
個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>